

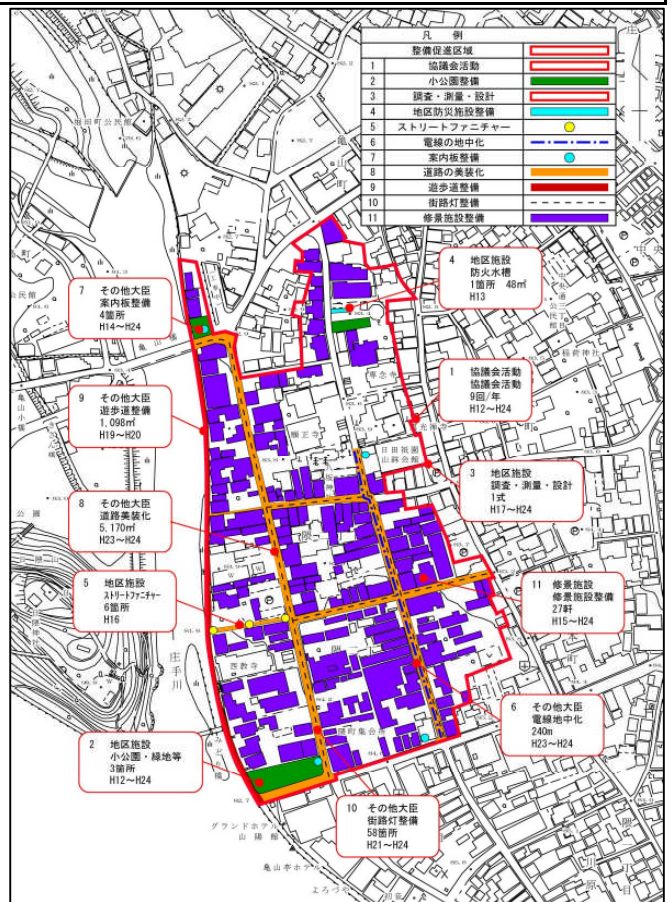
隈地区(日田市)	計画期間	平成12年度 ~ 24年度
	面積	6.7 ha
	全体事業費	480,000 千円
	市人口	72,411人 (うち地区内756人)

まちづくりの目標

自然・歴史・文化など多様な資源を守り、育てていき、住民が安心して快適に暮らせる環境をつくる。
また、快適な空間を整備することによって、「多くの人を訪れるまち」として地区の活性化を図っていく。

主な事業内容と事業費・事業期間

- 公園整備 (3ヶ所1,776㎡)、事業費: 7,700,000円、事業期間: H12~H24
- 電線類地中化 (240m)、事業費: 168,000,000円、事業期間: H18~H24
- 道路美装化 (5,170㎡)、事業費: 91,150,000円、事業期間: H16~H24
- 街路灯整備 (55基)、事業費: 56,700,000円、事業期間: H21~H24
- 遊歩道整備 (1,098㎡)、事業費: 7,150,000円、事業期間: H19~H20
- 案内板・ストリートファニチャー (10ヶ所)、事業費: 3,800,000円、事業期間: H14~H24
- 修景施設整備 (27棟)、事業費: 50,000,000円、事業期間: H15~H24
- 協議会活動助成事業、事業費: 7,700,000円、事業期間: H12~H24



黎明館(旧大分銀行日田支店)



寺町通り



整備イメージ



事業概要図

地区の歴史・風土

隈地区は、文禄3年(1594)に宮木長次郎が日隈城を築城した折、竹田村田島の民家を移し城下町として誕生しました。地区の南側には、水郷日田を象徴する三隈川が流れ、日田三丘の一つである亀山公園があります。さらには、西側に寺院を中心とした古い町なみが残るとともに、地区内には古い建築物が散在しています。また、栄華をきわめた天領時代の町人文化が今なお残る日田祇園祭があり、祭当日は地区内で、10mを越える山鉾を曳き回す勇壮な姿を見ることができます。



昭和初期の庄手川河畔の様子



現在の庄手川河畔の様子

地区の現況と課題

昭和40年代までは当市の商業、経済の中心地であったが、道路網の発達、核店舗の移転などにより、かつて市の中心商店街を誇った往年の面影も失い衰容の状態となっています。現在は、三隈川河畔の温泉旅館街、また夜の歓楽街となり、地区内の人口・世帯数の減少及び高齢化が進んでいます。



隈町公園整備前



隈町公園整備後

事業取り組みと成果

現在までに公園整備、遊歩道整備、案内板等の設置、修景施設整備などを行いました。歴史的な町なみ景観の継承とその特性を活かした潤いある住環境の整備を行うことで、地区の賑わいや活力を生み出しています。



遊歩道整備前



遊歩道整備後

地区の主なイベント

・日田川開き観光祭(5月20日過ぎの土・日曜日)

鮎漁の解禁に合わせて行われるこのお祭は、昭和23年に始まりました。メインイベントの花火大会は、2夜連続で行われ、約10,000発の花火が夜空を彩ります。

・日田祇園祭(7月20日過ぎの土・日曜日)

約300年の伝統を誇る日田の夏を彩るお祭です。絢爛豪華な山鉾が祇園囃子の音色とともに隈・竹田地区、豆田地区の町なみの中を巡航します。また、当日2日前の木曜日に行われる集団顔見世では、全9基の山鉾が一堂に会します。



日田川開き観光祭



日田祇園祭

地区のまちづくり協議会・地域の活動

平成9年に住民主体のまちづくりを進めるため、行政、専門家などからの助言を受ける中、地区住民を主体とする「隈のまちづくり委員会」が結成されました。委員会の開催、まちづくり講演会の開催、先進地視察などまちづくりに関する活動が活発に行われています。



委員会の様子

これからの取り組み

事業としては、街路灯整備・電線地中化・道路美装化などを実施予定です。隈地区の多様な資源(古い建築物・自然・文化)を活かしながら、地区住民の快適な生活環境の整備と、来街者の回遊性を促進して、地区の活性化を図っていききたいと思います。

事業のお問い合わせ先
日田市都市整備課都市計画係
TEL 0973-22-8217